

就職
内定2年 田口 貴佐
(宮城県・名取高校出身)ついに!春から
技工士です!!

私はこの度、株式会社アイ・ディー・エルから内定をいただくことができました。面接が苦手なので不安だったのですが、先生方が熱心に指導をして下さったので、本番では上手く自分の熱意を伝えられたと思います。就職先を決める時に重視した点は、定時で退勤できることや通勤時間などありますが、なによりも東歯技を卒業した先輩がたが多く入社され、長く勤めていらっしゃるという点です。実際に職場見学に伺った際には、スタッフの皆さんの和やかな雰囲気や、綺麗な室内、集中しやすい作業環境などを見ることができ、働きやすさを感じられたのが決め手になりました。また、作業室では小さな音でラジオがかかっていたのですが、私は静か過ぎるよりも適度な生活音などがあつたほうが集中できるタイプなので、そういう点も自分にとっては大事なポイントでした。

私には春から歯科技工士になる上で、目標としていることがあります。授業で、自分が製作した義歯を実際に着けてみる体験をしたのですが、想像以上の強い違和感にとっても驚きました。患者さんたちが違和感なく着けられるような義歯を作ることができる技工士を目指して、技術を磨いていきたいと思っています。

11月に2年生は「女性が歯科技工士を続けるために」というテーマの講演会に参加し、女性歯科技工士のお話を聞いてきました。結婚や子育て、時間の使い方など、女性が将来、不安に思うような点についてわかりやすくお話ししていただき、とても参考になりました。仕事をしながら結婚をし、子どもを育てていくのは大変なことなのだなと感じましたが、実際に仕事も子育ても頑張っている先輩方の体験を参考にしていけば乗り切れると思うし、大変なことも母親だから頑張っていけるのだなあと思いました。また歯科技工士として手に職をつけ、国家資格があれば、仮に出産などで一度仕事を離れても再就職しやすいと聞いているので、私も将来は子育てと仕事を頑張りたいと思います。私は仕事をする中で他にどんなことが大変なのかを質問してみたら、人間関係ということでしたが、それについても解決策はいろいろあるということをお話していただき、就職への不安も軽くなり、とても参考になる講演会でした。



講演会

女性技工士の
お話、参考に
になりました。2年 小林 映里奈
(山形県・谷地高校出身)

研究発表会

もっと
聞きたかった。
先輩の発表。1年 高橋 利玖
(福島県・新地高校出身)

11月11日、仙台市内歯科技工学校3校合同の研究発表会に参加してきました。発表者は、それぞれの学校から2名ずつと、技工士の先生の講演や企業で営業をされている方のお話などを聞くことができました。

本校代表で発表をした2年生の高橋さんと大場さんは、今年の歯型彫刻コンテストで優秀賞を受賞された方々で、彫刻が苦手な自分がカービングクラブに入るきっかけとなった憧れの先輩たちです。お二人の発表では、歯型彫刻の練習方法や進め方など、いま自分が最も知り

たい話をされていたので、とても興味深く、いつまでも聞いていたいと感じました。1年生の自分には難しい内容の発表もありましたが、色々な方から参考になるお話をたくさん聞くことができました。日々技術を磨いていく私たちにとって、とても貴重で有意義な機会になりました。

本校の国家試験対策指導は、定期テストや全国模擬試験の結果をもとに学生個々の習熟度を測定し、苦手分野の洗い出しを行いながら少人数制の補講を実施しています。また、受験対策には本校オリジナルの受験対策アプリを開発。過去に出題された試験問題や練習問題を通学途中や自宅で学ぶことができます。解答したデータは、学校のパソコンに集積され一人一人の理解度を測定して個別のサポートを行っています。

学生からは、「苦手分野を適切に見つけてくれ、担当の先生が個別に補講をしてくれるので安心」「自宅でもちょっとした時間を利用してアプリで勉強ができる」「毎朝行われる小テストで自分の理解度がわかり、苦手分野克服に役立つ」と好評で、昨年度(28年3月)の試験においても東北地区最多合格者数を達成しています。

国家試験対策

オリジナルの
対策アプリで
個別にサポート。教務部長
神永 聡 先生